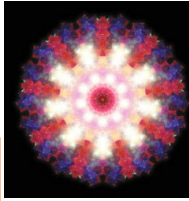


ユニカ de 元気通信

令和5年1月号

究極のルームウェア！で感動の声が続出！体が軽い！
使った翌朝から頭が冴える等々。通信の右下に掲載です。



しんわのきせき カタカムナ～神話の奇跡～

人の身体DNAに刻まれた
暗号カタカムナ文字でできている。

夢かなえる『神話の奇跡』

縄文時代よりもはるか昔にカタカムナという文明がありました。
その文明に関する記述は和歌に似たカタカムナウタヒという神話以外に何も残されていません。
そのため、カタカムナ文明は、長い間、謎に包まれたままでした。
しかし、カタカムナウタヒを、ていねいに読み解いていくと、そこには現代物理学の最先端の理論や現代科学が到達していない超科学についても書かれていました。カタカムナウタヒはただの神話ではなく現代科学をしのぐ超科学書だったのです。それだけでなく驚いたことに、このカタカムナウタヒのデザインそのものに『夢をかなえる』空間を人の周囲に創り上げる作用があったのです。
というのは、カタカムナウタヒは、カタカムナ人が高次元空間に意識を移してそこで見た素粒子の形を写しとったものをデザイン化したものだからなのです。
実際、カタカムナウタヒのデザインを刻印した生活用品を使うと人の周囲の空間と人の身体を構成する素粒子がカタカムナウタヒという素粒子のデザインと共振し奇跡ともいべきことが次々と起こります。特にカタカムナウタヒの人を元気にする働きや、使う人の脳に働きかけてめぐりをよくし、その人の夢の実現を助ける力は特筆ものです。

ユニカにはたくさんの
カタカムナアイテムが
あります。



カタカムナ枕カバーが特におすすめです。
身の回りのものにカタカムナを刻印することで心が平安に包まれ安心して暮せます。この枕カバーは『ぐっすり寝れますように。』『運が向きますように。』という願いから誕生しました。



カタカムナ～神話の奇跡～シリーズの誕生

人生は、魂の成長という大きな流れの一部です。
あなたを操縦しているのはあなた自身です。

あなたの想いが今のあなたを作っています。未来もあなたの想いがつくり続けます。
そして、今あるすべてに感謝すると魂が向上します。感謝するという感情は、あらゆる心の垢を洗い流し、本来のあなたに近づけるからです。幸せな状態であっても「あたりまえ」と思い、感謝できずにいると、やがて「あの時が幸せだった」と気づかれます。

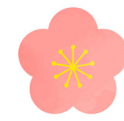
人は一人では生きていくことはできません。これまで関わってくれた人たちが、身の回りにあるものはあなたの人生の目的を達成する手伝いをしてくれた人やものばかりです。
あなたが感謝の心を持つならば、あなたはほかの誰にも感謝される存在になります。人は皆「鏡」だからです。感謝され、ありがたがられ、認められる存在になります。あなたが送った感情があなたを換えていきます。

お金や名誉や地位はあっちの世界には持っていきませんが、他人やすべてのものに感謝する心は、あっちの世界にまでもっていくことができます。もちろん、愛や慈悲の心も持つことができます。とはいうものの、私などは、感謝は大切だと思って、一定期間実行するのですが、しばらくするとマンネリ化して、心の底から感謝することがなくなってしまう。

そこで、私は自分が感謝することに気づくために、身の回りのものにカタカムナの図像を刻印することにしました。例えば、食事の時に使う御箸やお皿にカタカムナの図像があれば私がそれを見たとき、心からの感謝の想いをもう一度思い起こすことができるのではないかと考えたからです。ハンドタオル一つにしても、そこにカタカムナ図像があれば、1枚のハンドタオルをいっくしみながら使う気持ちが私の中に起きるかもしれません。

カタカムナは神の言葉であり、私たちの祖先の言葉であるので、私は、これらを使うとき、心が平安に包まれ安心することができます。
もちろんカタカムナの図像が刻印されたものには、小さなミスマルノタマを創る作用があります。
私の心や人間としての物質的な側面の両方に良い作用を与えてくれます。
そんな想いで、カタカムナが刻印されたものを創らせていただきました。
(※「なぜ折りの力で病気が消えるのか」を一部引用)

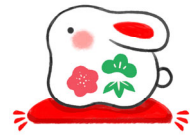
丸山修寛



ユニカには『夢を叶える』『人を元気にする空間を作る』古代文字カタカムナのグッズが勢ぞろい。



こちらから
どうぞ→



電磁波吸収ルームウェア！
起きられないほど爆睡する
人続出です！この季節は羽織物等で温かさを調節してください。

起きたら頭や体が
感動級に軽い！



『幸運をぐんぐん引き寄せる開運クスリ絵』
『45歳からの女性に効くすつきりクスリ絵』

発行元：
株式会社ユニカ

詳しくはこちらから

